

# 漁海況情報

第560号 (平成31年2月12日)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594  
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

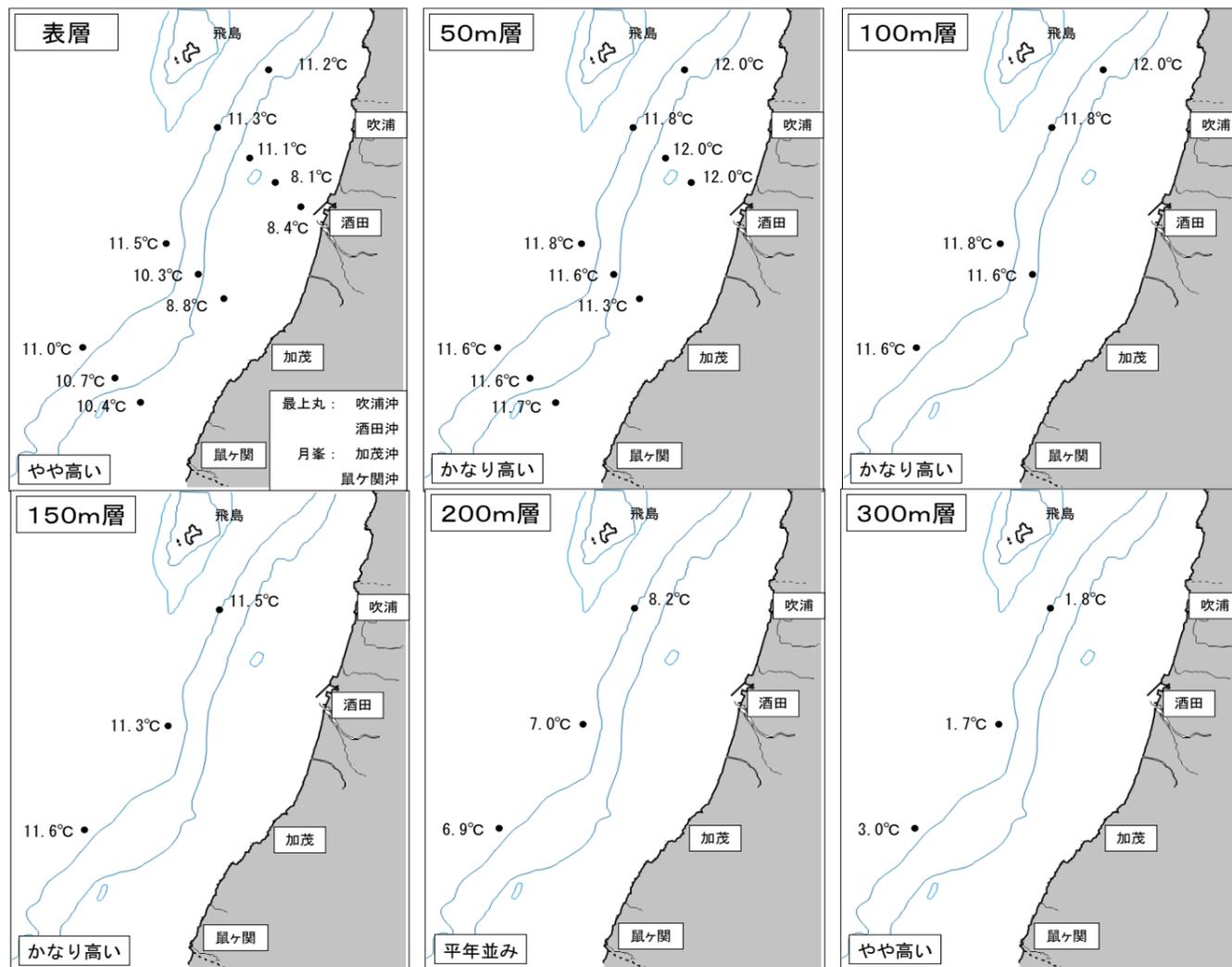
- 山形県水産試験場「最上丸」と庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、1月25日および30日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層および300m層は「やや高い」、50m層～150m層は「かなり高い」、200m層は「平年並み」でした。
- 1月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産試験場)では「やや低い」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)では「平年並み」でした。
- 1月のたら場観測では、水深200m帯の水温が高い傾向にありましたが、250m帯および300m帯では平年並みで安定していました。

各層別の平均水温(2月上旬分観測値)

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	10.4	11.7	11.8	11.3	7.4	2.2
前年差	+1.0	+0.9	+1.2	+1.0	-1.8	+0.5
平年差	+0.8	+1.4	+1.7	+2.1	+0.8	+0.5
評価	やや高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並み	やや高い

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



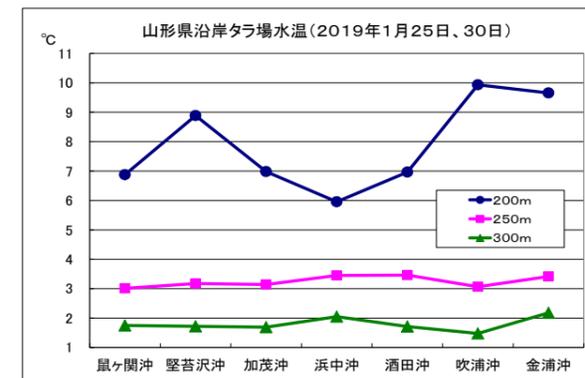
地先平均水温(1月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	7.9	-0.4	-0.6	やや低い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	10.2	+0.1	-0.2	平年並み

## 1月下旬(2019年1月25、30日)のたら場水温

- 200m層  
全体では「平年並み」ですが、浜中沖では「かなり低い」、酒田沖では「やや低い」であった一方で、吹浦沖では「かなり高い」、金浦沖では「やや高い」でした。中部海域は海水温が低く、北部海域は高い傾向にあるようです。
- 250m層  
全定点で「平年並み」でした。
- 300m層  
浜中沖で「やや高い」、吹浦沖で「やや低い」でしたが、全体では「平年並み」でした。



- 総評  
水深200m層水温は、調査定点によって大きく異なっていました。一方、250m層および300m層水温は「平年並み」で安定していました。昨年同時期の調査では、水深200m層および250m層の水温が高い傾向にありましたが、今年は昨年よりも比較的水温が安定しているようです。



## たら場観測の定点



# 1月の漁況

- 延べ操業隻数は579隻で前年比72%、総漁獲量は234トンで前年比47%と、前年を大きく下回りました。寒気の影響により時化が多く、操業できない日が続いたことが大きな要因の一つです。
- 底びき網漁業の漁獲量は115トンで前年比73%と、前年を下回りました。タイ類およびホッケは前年を上回り、ヒラメ、カレイ類、ハタハタ、アンコウ、ズワイガニ、紅エビおよびサメ類は前年を下回りました。
- その他の漁業では、その他はえ縄漁業のマダラおよび採貝藻漁業のサザエが前年を上回り、いか一本釣漁業および船凍いか釣漁業のスルメイカ、その他はえなわ漁業のタイ類、かご漁業のタコ類、ふぐ縄漁業のトラフグ、採貝藻漁業のアワビ、ナマコおよびノリは前年を下回りました。
- 山形県における寒ダラの漁獲量は、1月下旬現在で56トン、過去20年間の平均の57%でした。
- 本県の9月からのハタハタ累計漁獲量(全漁業種類)は156トン、前年比83%と前年を下回りました。

\* 前年比は平成26～30年までの平均値と比較した値です。  
 \* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。  
 \* 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	37	98	88	12	110	53	23	158	579	78%	72%
総漁獲量	8,668	4,227	122,993	10,400	17,641	8,699	374	60,502	233,503	76%	47%
前年比	74%	74%	70%	50%	61%	93%	90%	113%	76%		
前年比	57%	51%	35%	103%	53%	74%	39%	90%	47%		

## 底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	14	29	45	16	100	204	87%	81%
タイ類	95	9,041	589	47	10,623	20,395	126%	172%
ヒラメ	23	15	34	82	226	379	30%	42%
カレイ類	124	218	877	720	1,632	3,571	52%	57%
ハタハタ	439	438	1,188	1,537	9,287	12,889	197%	33%
ホッケ		70	130	113	970	1,284	256700%	1850%
アンコウ	38	58	112	122	679	1,008	52%	52%
ズワイガニ	11	10	581	49	238	889	31%	25%
マダラ	5,363	13,196	9,192	4,776	22,139	54,666	81%	87%
紅エビ	23	20	620	32	7,433	8,128	129%	78%
サメ類	148	30	128	47	1,683	2,036	56%	35%
その他	659	2,798	884	484	4,655	9,481		
計	6,922	25,894	14,333	8,009	59,567	114,725	89%	73%
前年比	69%	85%	54%	90%	113%	89%		
前年比	53%	69%	48%	71%	91%	73%		

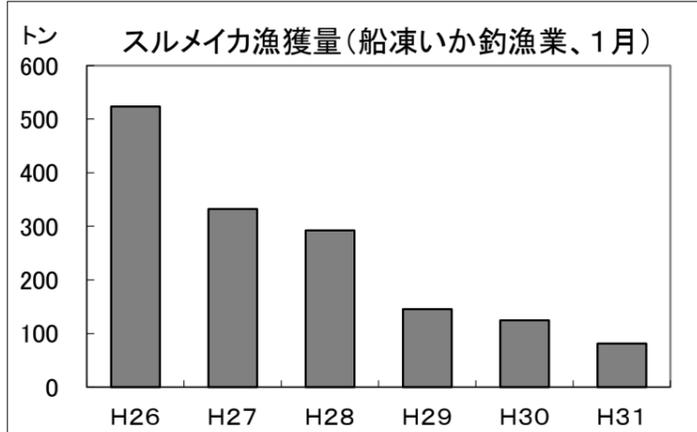
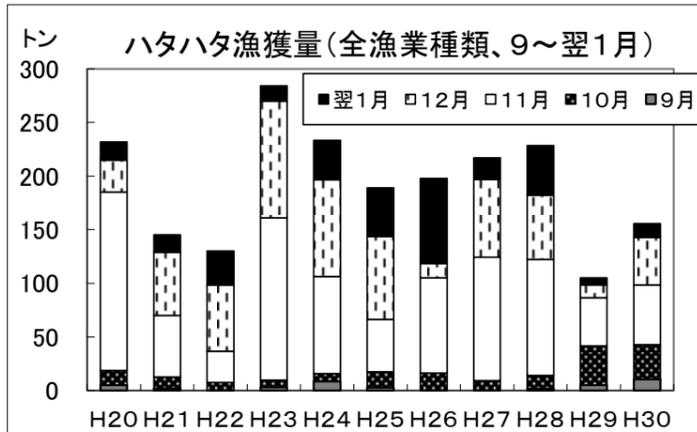
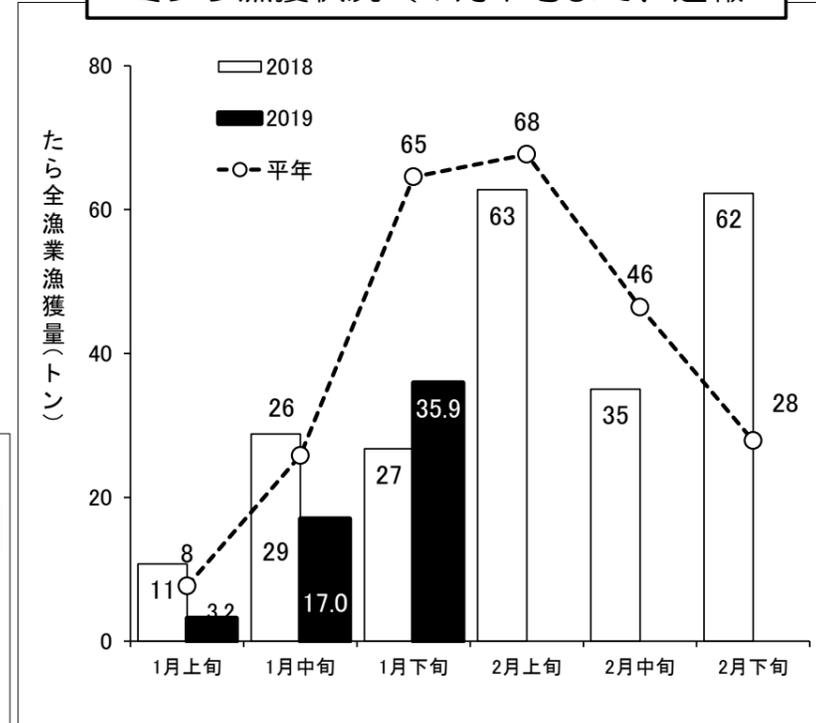
## その他の漁業

単位: 隻、kg

漁業種類	いか一本釣漁業	船凍いか釣漁業	その他はえなわ漁業		かご漁業	ふぐ縄漁業	採貝藻漁業			
延べ操業隻数	37	4	42		36	8	183			
総漁獲量			5,375		2,203	44	2,589			
前年比			191%		88%	38%	129%			
前年比			102%		78%	8%	69%			
主な対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	タイ類	マダラ	タコ類	トラフグ(※)	アワビ	サザエ	ナマコ	ノリ
漁獲量	12,350	81,536	493	2,822	2,198	33	365	1,687	335	199
前年比	57%	65%	109%	817%	87%	31%	81%	244%	80%	46%
前年比	38%	29%	35%	168%	78%	6%	46%	141%	24%	64%

※ 平成28年以前は、トラフグ以外のふぐ類が含まれています。

## 寒ダラ漁獲状況(1月下旬まで、速報)



## 最上丸の調査予定(2月中旬～3月上旬)

- 海洋観測を行います。
- 底びき網調査(沖合礁、ハタハタ)を行います。
- サケの稚魚調査を行います。

みなさま、調査への御協力。御理解よろしくお願ひします。

